

WebSphere® software

半導体業界向け IBM WebSphere Product Center



ハイライト

- 複数の情報源から製品情報を集約する
- 既存のシステムに含まれるすべての製品情報を拡充する
- さまざまなフォーマットやプロトコルによって、特定の製品のコンテンツやフォーマットをe-commerceのシステム、お客様、複数のカタログ、パートナー、CRMアプリケーション、およびその他の内外のシステムと同期化する
- 革新を促進するために製品企画やお客様へのフォーカスを強化する
- 市場の状況の進展、技術の変化、価格への圧力、厳しい競争などに迅速に対応する

半導体メーカーは、製造用の機材やデバイスの短いライフサイクル、サービスへの期待が高く要求の厳しいお客様、極めて厳しい競争環境、予測不可能な経済や将来などに対応しなければなりません。その結果、新しい製品の開発や既存の製品の変更に加え、増え続けるチャンネルを通じてそれらの製品を販売することに常に追われています。堅牢な製品情報管理(PIM(Product Information Management))ソリューションを導入すれば、より効果的に革新に取り組み、顧客のニーズにより迅速に対応できるよう業務を合理化でき、進化する市場において競争優位を保つことができます。

広範な情報源から製品情報を集約する
IBM WebSphere® Product Center ソフトウェアは、ビジネス・ルールやプロセスを備えた中央製品情報リポジトリを構築します。それにより、通常は組織内のエンタープライズ・リソース・プランニング(ERP)、プロダクト・ライフサイクル・マネージメント(PLM)、レガシー、カスタマー・リレーションシップ・マネージメント(CRM)、データ・マスター・システムなどに分散しているあらゆるデータを集約し、管理することができます。また、この最先端のPIMソリューションは、製品に関する情報を取引条件と結びつけ、この情報を内部の既存のシステムや外部の相手先商標製造会社(OEM)、相手先ブランド設計製造業者(ODM)、取引先などと同期化します。

自動化された高度なビジネス・プロセス機能や組織のモデリング・ツールは、製品データの作成、検証、承認に加え、異なるバージョンを作成することもできます。その結果、製品情報をライフサイクルにわたり、属性レベルで管理できるようになります。ワークフロー機能を活用することで、製造設備、組み立てやテスト用設備のネットワーク全体に、一貫性のある正確な製品情報の一覧を提供することができます。それにより、導入から寿命の終了に至るまで製品の販売を最適化することができます。

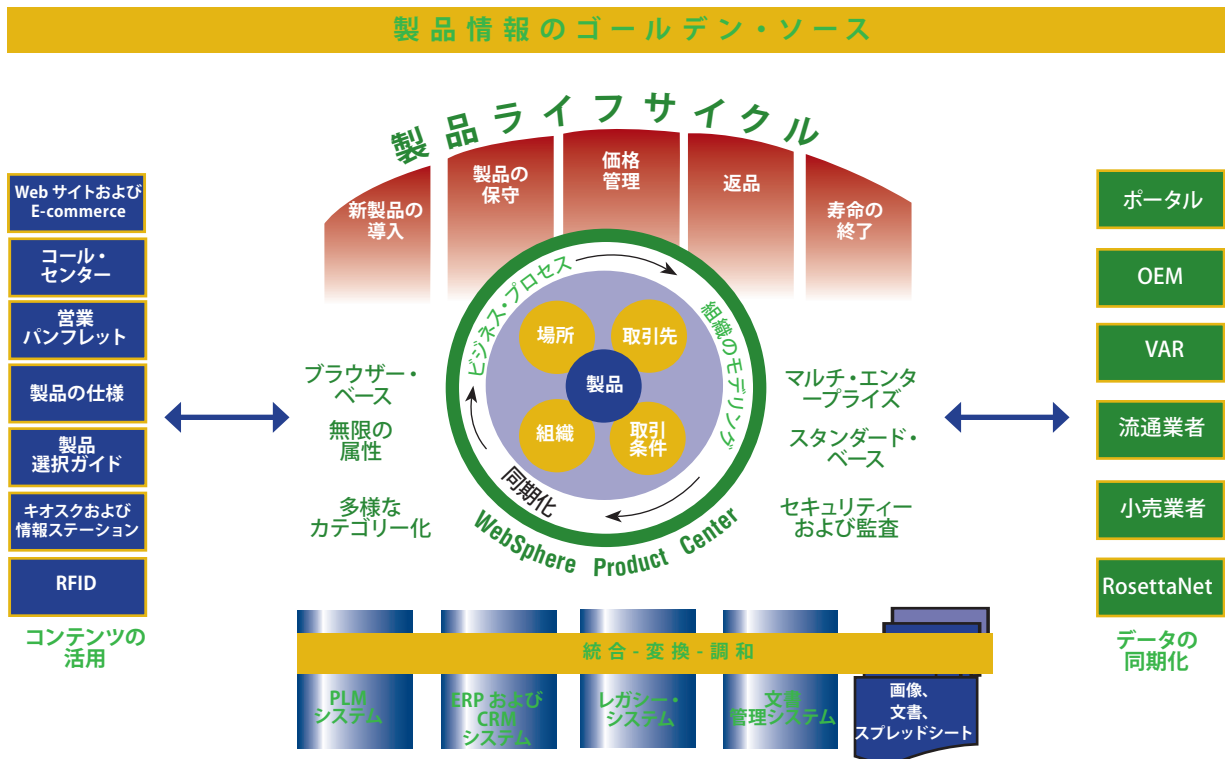
WebSphere Product Centerを使用すれば、正確なマスター製品情報を中央で作成し、保守することができます。それと同時に、あらゆる国の設備で、この情報を再利用、翻訳、または変換し、流通や販

売計画に役立ててもらうことができます。組織として、マーケティングの特徴やメリットなど、地域ごとに変更可能な情報についてのルールを設ける一方、技術仕様や注意書きのような、現状のままにすべき情報を定めることができます。お客様の組織のグローバルなブランド・エクイティーの保護のために一貫して再利用できるよう、ブランド・アイデンティティーに関連する製品情報はWebSphere Product Centerの中央製品情報リポジトリに保管されます。

ビジネスのニーズに合わせ製品情報を拡充

WebSphere Product Centerでは、既存のシステムに含まれるすべての製品情報を拡充できるため、次のことが可能となります。

- 自動化されたワークフローによるコストの削減、レビュー・サイクルや市場参入までの時間の短縮。
- 新しいテクノロジーの採用の促進。
- プロダクト・ライフサイクルがますます短くなる環境での競争力の確保。
- 競争優位を確保するために製品やプロセスをより迅速に改善。
- 属性が何千もあるデバイスに関する膨大な情報の管理。
- RosettaNetなどの業界標準への準拠。
- パラメトリック検索による生産性の向上。
- 複数の分類法への対応による、すべての製品情報の精度の維持と正規化。



IBM WebSphere Product Centerは、製品情報の集約、拡充、同期化を可能にします。

- すべての変更やバージョンを十分なセキュリティ、アクセス制御、変更管理に従って追跡。
- グローバルなニーズや地域のニーズに的確に対応するよう製品情報をカスタマイズ。

WebSphere Product Center では、新製品の導入のようなビジネス・プロセスを、効果的に合理化、カスタマイズ、および自動化することができます。これらのプロセスを活用することで、最も効率的な方法で製品情報を作成、承認、許可することができます。また、属性レベルでアクセス制御を行い、適切なユーザーやグループのみにデータを利用する権限が与えられるよう徹底することもできます。このような堅牢な機能によって、複数のビジネス・ユニット、地域、ユーザーからアクセスできるエンタープライズ・クラスのソリューションを社内、社外の両方で提供することができます。

WebSphere Product Center を利用することで、プロセスの各段階において完成像を十分に把握しながら、製品のコンテンツの翻訳や承認といったプロセスを管理し、追跡することができます。製品のコンテンツ・マネージャーは、プロセスのボトルネックを特定し、翻訳済みの承認された製品コンテンツが時間通りに配信されるよう、適切に対処することができます。データ・ディクショナリーが存在しないために、技術文書サービス担当者や製品情報担当の

エンジニアたちが重複したコンテンツの有無を点検しなければならないということは起こらなくなります。WebSphere Product Center を導入することで、機能や特徴が、該当するデバイスに正しく対応しているかの確認作業に専念することができます。マーケティング・コミュニケーション戦略の担当者たちは、選択ガイドをより効率的かつ正確に提供できるようになります。プロダクト・マーケティング担当者は、部品を特定するために部品表を手作業で確認していた時間を短縮できます。Web のコンテンツ・マネージャーは、完全な最新の製品情報を活用し、公開された Web サイトやお客様のポータルを通して提供することができます。お客様は、すべてのタッチ・ポイントで一貫した情報を得られるようになります。

製品情報を迅速かつ効率的に同期化

WebSphere Product Center を活用することで、さまざまなフォーマットやプロトコルによって、特定の製品のコンテンツやフォーマットを e-commerce のシステム、お客様、複数のカタログ (オンラインと紙の両方)、パートナー、CRM アプリケーション、およびその他の内外のシステムと同期化することができます。製品情報は作成または更新され次第、世界中の複数の販売チャンネルと同期化する必要があります。WebSphere Product Center では、グローバルな情報、地域特有の情報、小売業者特有の情報のほとんど

を、e-commerce サイト、付加価値ディストリビューター (VAD)、付加価値リセラー (VAR)、流通業者、ODM や OEM のチャネル、印刷されるカタログ、コール・センターなど、あらゆる相手先に自動的に公開することができます。また WebSphere Product Center は、重要な価格変更や製品に関するその他の変更内容を、分刻みで集約し、同期化することができます。

ビジネスの成長に貢献するソリューション

ビジネスの運営には、効果的な製品情報管理が不可欠です。WebSphere Product Center は、最先端の製品情報管理ソリューションを提供します。市場が求めるスピードでビジネスを運営できるよう、製品情報を活用し、効率性を上げて、より迅速な対応をするようにしましょう。そして、競合他社に対し、先手を打つようにします。その結果大きなビジネス・メリットを手にかけてください。

詳しくは

IBM WebSphere Product Center の詳細については、以下をご覧ください。

ibm.com/websphere/prodinfomgmt/



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711
東京都港区六本木
3-2-12

IBM、IBM ロゴ、On Demand Business ロゴ、および
WebSphere は、IBM Corporation の商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ
各社の商標または登録商標です。

Produced in the United States of America

09-04

© Copyright IBM Corporation 2004

© Copyright IBM Japan 2004

All Rights Reserved.